施設概要

（令和６年４月１日現在）

施設名		開館時間	
青少年女性センター （福祉センター内）		午前９時～午後１０時	
所在地	〒２７０-１４１５ 白井市清戸７６６-１	併設施設	白井市老人福祉センター 白井市就労支援継続B型事業所　みのり
TEL	０４７-４９２-２０２２	FAX	０４７-４９２-２０２１
メール	fukushi-center@bz04.plala.or.jp		
休館日	日曜日・国民の休日 １２月２９日～翌年１月３日	駐車場	６０台
職員構成 R５年４月現在	センター長１人　事務職１人　（非）事務職５人　用務員１人 合計８人　（老人福祉センター常務兼務）		
貸出施設	１時間あたりの施設使用料（社会教育認定団体は２分の１）		

施設名	定員	９：００～２２：００	付帯設備
研修室	３６ 名	２５０ 円	ビデオ１台・テレビ１台・ピアノ１台 机１２台・椅子３６脚
会議室	３６ 名	２５０ 円	机１２台・椅子３６脚
調理室	３６ 名	７２０ 円	調理台６台・椅子３６脚
レクリエーションホール	１３９ 名	９７０ 円	バトミントンコート２面 バレーボールコート１面・卓球台６台

貸し出し可能備品	

令和5年度　公民館等団体別利用状況
（青少年女性センター）

種別	青少年		成人		女性		高齢者		その他		個人		合計	
月	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4	18	119	45	535	21	197	13	119	8	135	17	19	122	1,124
5	7	42	42	422	16	110	10	89	20	257	10	16	105	936
6	2	14	44	404	20	129	11	103	23	314	8	15	108	979
7	1	7	44	425	21	155	13	119	11	166	9	10	99	882
8	1	5	44	414	15	122	9	75	14	156	9	44	92	816
9	0	0	35	311	22	156	15	118	12	464	6	7	90	1,056
10	3	34	44	507	21	170	16	127	21	263	1	1	106	1,102
11	1	6	37	388	19	136	16	135	31	352	3	3	107	1,020
12	0	0	40	422	22	146	12	112	15	164	5	19	94	863
1	0	0	38	383	17	128	16	140	5	52	7	16	83	719
2	1	8	36	378	17	126	13	134	19	216	6	21	92	883
3	4	81	51	541	20	186	16	121	9	103	9	70	109	1,102
合計	38	316	500	5,130	231	1,761	160	1,392	188	2,642	90	241	1,207	11,482

□の合計が必ず一緒になるように
各部屋の年間利用率を記入する欄を追加しましたので忘れずに記入してください。
年間利用率は、小数点第1位まで記入してください。（小数点第2位を四捨五入）

令和5年度部屋別利用件数・利用人数

部屋名	利用件数（件）	利用人数（人）	年間利用率（%）
研修室	401	2,739	79.1
会議室	240	1,678	55.1
調理室	22	273	7.2
レクリエーションホール	544	6,792	92.8
合　　計	1,207	11,482	

令和５年度　青少年女性センター　事業報告

１　運営方針

（１）全体の運営方針

・「住民一人ひとりの福祉ニーズに対応し、みんなが安心して暮らせるまちづくりの実現」を目指し取り組む。

・「誰もがありのままにその人らしく」をコンセプトに、子どもから高齢者までの各年齢層が気軽に参加・交流できる事業の実施。

（２）分野別方針

	運営目標
家庭教育 （１）	①子育て世代が交流し悩みや不安を解消できる機会をつくる。 ②子育てを通じて男女共同参画の推進を図る。 ③家事や育児に男性参加を促し固定的性別的役割分担意識の解消を進める。
青少年教育 （２）	①市内の小学校を対象に、交流の場を設け仲間づくりを推進する。 ②市内の小学校を対象に、体験を通じて学習し興味を促す。 ③中学生以上を対象とした、進路にもつながる体験学習の場を提供する。 ④講座を通じて子供たちの自主性や主体性を育てる機会の場を提供する。
成人教育 （３）	①起業を目指す女性のための学習の場づくりやスキルアップの機会の場をつくる。 ②各年齢層が横断的に気軽に参加・交流できる学習の場を提供する。 ③悩みや心配ごとを抱える人のストレスを緩和する講座の取組を行う。 ④地域で自分らしく生き生きと働けるようワーク・ライフ・バランスを推進する。 ⑤女性の視点にたった生涯学習の場を提供する。 ⑥地域住民が集い、学ぶコミュニケーションの場を提供する。
団体育成 （４）	①学習成果の発表の場を提供し、団体活動を支援する。 ②社会参加が困難な若い世代の女性を対象とした外出の機会や社会参加の機会の場を提供する。 ③障害を持つ人たちの生涯学習活動促進を促す。

（３）令和５年度　重点的に実施した項目（講座・事業など）

・男女共同参画事業の啓発、周知

・地域交流・世代間交流を育む

２　青少年女性センター講座実施報告

（１）学習講座事業

対象	学級講座名		回数	参加人数
家庭教育 （１）	子育て支援講座 （ハッピースマイル術） ・ママの姿勢と子どもの成長 ・家族の笑顔と健康、ママの若さも守る　実践！ホームケア ・バナナうんちで元気な子	①②	３回	延べ１０人
	親子チャレンジ体験講座 （おやこチャレンジ）	③	５回	延べ５８人
青少年教育 (2)	小学生向け体験講座 ・プログラミングで作って遊ぼう！！ ・親子バイオ実験教室 ・きっずトライ！！	①②④	６回	延べ６６人
	中高生向け体験講座 （理系ナビ「バイオテクノロジーを利用したカイコ研究の今を知ろう！！」）	②④	１回	１０人
成人教育 （３）	女性支援講座 （ストレスフリーライフ講座） ・有酸素運動とトレーニング基礎 ・アロマでハンドマッサージ ・女性のための防犯セミナー ・人生１００年時代のマネープラン	③④⑤	４回	延べ３３人
団体育成 （４）	障がい者の学びの支援事業 （バランスボール講座）	③	１回	１０人

（２）講座以外に行った事業

・イベントの開催（福祉センターフェスティバル）

・男女共同参画週間における周知・啓発活動

（６月：男女共同参画週間、９月：国際ガールズ・デー、１１月：児童虐待防止月間、女性に対する暴力をなくす運動）

・居場所づくり「こころの Cafe」の開催

・クリスマスコンサートの開催（就労継続支援 B 型事業所みのりとの合同事業）

（３）情報の提供

・講座・行事（イベント）情報は、広報しろい、社協しろい、HP、Facebook ページにて情報提供

・各講座チラシを作成し、関係機関に配布、掲示。

・情報誌「清戸の杜」の発行（年１２回）

・就労に関する情報提供。

（４）施設の提供

・団体活動の発表や掲示等活動への協力、ご意見箱を設置し利用者からの意見や要望を聞き、改善や意見・要望について回答することで利用しやすい施設の提供

・青少年又は、女性団体またはグループで行う活動のための施設の提供

・青少年の健全育成に携わる者が行う研修、会議などのための施設の提供

・青少年の健全育成及び女性の社会活動に資する情報及び、資料の提供

（５）「with コロナ」「after コロナ」時代に向けた対応

・出入口の手指の消毒、非接触型体温計の設置。

３　事業の評価

（１）分野別方針

	評　価
家庭教育 （１）	おやこチャレンジは各講座、参加者から好評を得ることができた。
青少年教育 （２）	小中学生の講座は今後も周知等を広く行い、参加者の増員を行っていく。
成人教育 （３）	４回の各講座で各参加者から好評の声をいただいた。 今後も継続的に行っていく。
団体育成 （４）	障がい者を対象にした、初の試みだったが、満足のいく結果になった。 今後も継続して事業を行っていく。

（２）令和５年度重点的に実施した項目（講座・事業など）

評価
例年同様に今後も男女共同参画の発信を広く行っていきたい。

講座・学習プログラム【家庭教育】

講 座 名	「ママの姿勢と子どもの成長」～鏡育・子は、親から学ぶ（真似ぶ）～ 子育て支援講座 ハッピースマイル術		
対　　象	子育て中の母親		
募集人数	１０人	参加人数	３人
事業の課題と目標 課　題 ・パソコンやスマホを日常的に使うことで、子どもの姿勢が悪くなっている。猫背が集中力、自律神経、学力の低下や不眠、仮性近視などの原因になっている。 ・子どもだけでなく、母親自身も猫背になりがちで、血液循環が悪くなり首や肩、背中のこりにつながっている。 目　標 ・姿勢が悪いことを自覚させ、いい姿勢とは何かを具体的に伝える。 ・いい姿勢でいられる環境を整える。 ・大人が姿勢の手本をみせる。			
学習期間	令和５年１０月５日	学習場所	会議室
回　　数	１回	講　　師	健康運動実践指導者　西山崇子さん
学習内容	身体的な姿勢を整ええるために、インナーユニットを鍛える体操、ひめトレなどを実践 悪い姿勢のデメリット、いい姿勢でいる必要性やメリット、を伝えるための知識を習得		
予　　算	総額：８，７５０円 ※うち参加者負担金：０円 内訳：講師料　７，０００円 その他事業費　１，７５０円	決　　算	総額：７，０００円 ※うち参加者負担金：０円 内訳：講師料　７，０００円 その他事業費　０円
事業参加者への配慮等 ・幼児がいる母親も気軽に参加できるように保育付きで開催した。 ・応募が少なかったため、コミュニケーションを取りやすいようにレイアウトを変えた。			
事業の成果（課題や目標に対して） ・姿勢を良くすることが、運動のパフォーマンスの向上、集中力、学力アップにつながることを学んだ。 ・大人が姿勢の手本を見せることで、子どもにも良い影響を与えることを学んだ。 ・母親自身の姿勢改善ができた。			
備　　考 ・			

講 座 名	「家族の笑顔と健康、ママの若さも守る　実践！ホームケア」 ～フェイス、デコルテ、肩甲骨編～ 子育て支援講座 ハッピースマイル術		
対　　象	子育て中の母親		
募集人数	１６人	参加人数	４人
事業の課題と目標 課　題 ・子育て中の母親は、自身の健康については後回しになりがち。ストレスや疲れを抱えながら子育てに奮闘している。 目　標 ・母親自身の疲れた身体をリフレッシュして若々しさを保ち、笑顔で子育てができるようにホームケアを学ぶ。 ・教わったホームケアを家族にも実践し家族みんなの健康を守る。			
学習期間	令和５年１０月２０日	学習場所	会議室
回　　数	１回	講　　師	JHA 日本グリーンハートセラピスト協会 理事長　宮内典子さん
学習内容	人体中、最速で老化がスタートする毛細血管について学んだ。 飲食、睡眠、運動習慣やストレスにより変形した毛細血管を正常な状態に戻すためのリンパマッサージ法を教わり参加者同士で実践		
予　　算	総額：１３，７５０円 ※うち参加者負担金：１，７００円 内訳：講師料　１２，０００円 その他事業費　１，７５０円	決　　算	総額：１３，７５０円 ※うち参加者負担金：４００円 内訳：講師料　１２，０００円 その他事業費　１，７５０円
事業参加者への配慮等 ・幼児がいる母親も気軽に参加できるように保育付きで開催した。 ・講座途中、保育のお子さんが泣いてしまったので、母親と一緒の部屋で保育をしてもらった。			
事業の成果（課題や目標に対して） ・「日頃、忙しくなかなか日常を見直すことがなかったが、講座をうけて自分自身や家族の日常を見直すことができて良かった。」という意見があった。 ・自分自身をいたわる時間を過ごせてリフレッシュできた様子だった。			
備　　考			

講 座 名	「バナナうんちで元気な子」 ～生活リズムを整えよう～ 子育て支援講座 ハッピースマイル術		
対　　象	子育て中の母親		
募集人数	１５人	参加人数	３人
事業の課題と目標 課　題 ・スマートフォンなどの普及により子どもの就寝時間が遅くなる傾向があり、朝の時間にも余裕がなく朝食を食べずに登校する子どもが増えている。 目　標 ・早寝、早起き、朝ごはん、排せつについて学び、子どもの健やかな成長に必要な生活リズムを整える。			
学習期間	令和５年１０月３１日	学習場所	研修室
回　　数	１回	講　　師	日本成人病予防協会 管理栄養士　高橋志保さん
学習内容	状態の良い「バナナうんち」がでるための食事（朝ごはん）について学ぶ。 また、生活リズムを整えるための睡眠（早寝、早起き）の大切さを学ぶ。 睡眠の役割、運動能力、こころとの関係についての理解を深める。		
予　　算	総額：２１，７５０円 ※うち参加者負担金：１００円 内訳：講師料　２０，０００円 その他事業費　１，７５０円	決　　算	総額：２０，３４４円 ※うち参加者負担金：０円 内訳：講師料　１８，５９４円 その他事業費　１，７５０円
事業参加者への配慮等 ・幼児がいる母親も気軽に参加できるように保育付きで開催した。			
事業の成果（課題や目標に対して） ・「朝食と睡眠の大切さについて詳しく学ぶことができ、生活に取り入れられる内容で良かった。」という感想を頂いた。			
備　　考 ・ ・			

講 座 名	おやこチャレンジ講座		
対　　象	市内小学生とその保護者		
募集人数	４６組　９２人	参加人数	２７組　延べ５８人
事業の課題と目標 課　題 仕事や生活に追われ子どもと一緒に何かを体験する機会が少なくなりがちである。 目　標 男女共同参画の視点から、なるべく父親が一緒に体験できる内容を企画し、父親が子育てに参加する機会を作る。また、この体験を通じて親子の絆を深める。			
学習期間	① 令和５年６月２４日 ② 令和５年１１月１８日 ③ 令和５年１１月２５日 ④ 令和６年１月２０日 ⑤ 令和６年３月９日	学習場所	① 会議室 ② レクリエションホール ③ レクリエションホール ④ 研修室 ⑤ 調理室
回　　数	５回	講　　師	① 公益財団法人　日本書道教育学会 月例審査員　森嶺雲さん ② 東京ユニカール協会 会長　石井功樹さん ③ 太田有里沙さん ④ キッズクラフト　加藤久美子さん ⑤ 栄養士　吉原美智子さん
学習内容	① 書写講座 ② ユニカール体験講座 ③ 親子ヨガ教室 ④ スクラップブッキング　冬のアルバム作り ⑤ 親子で作ろう！ほっかほか肉まん講習		
予　　算	総額：４６，０００円 ※うち参加者負担金：０円 内訳：講師料　４６，０００円 その他事業費　０円	決　　算	総額：５１，８４６円 ※うち参加者負担金 １２，０００円 内訳：講師料　５０，６７６円 その他事業費　１，１７０円
事業参加者への配慮等 ・ケガ等が無いよう、安全に参加できるように注意する。 ・親子で楽しく参加ができる内容で、一緒に過ごすきっかけを提供する。			
事業の成果（課題や目標に対して） ・どの講座も、親子で楽しく参加していた。アンケートでも、「楽しい親子時間になった。」「リフレッシュできた。」という声が多くあった。 ・父親の参加が、全体で５組だけだった。			
備　　考			

講座・学習プログラム【青少年教育】

講 座 名	小学生向け体験講座「プログラミングで作って遊ぼう！！」		
対　　象	市内在住の小学３年生以上		
募集人数	１０人	参加人数	延べ１０人
事業の課題と目標 課　題 ・小学校期など、早い段階からプログラミングに触れる機会が少ない。 ・ ・ 目　標 ・プログラミングに興味を持ってもらう。 ・ ・			
学習期間	令和５年４月５日	学習場所	会議室
回　　数	２回	講　　師	電子工作研究会　今井伸高会長他４名
学習内容	プログラミングへの興味と電子工作によるものづくりの楽しさを経験してもらう		
予　　算	総額：３３，０００円 ※うち参加者負担金 １５，０００円 内訳：講師料　１４，０００円 その他事業費　１９，０００円	決　　算	総額：２５，７００円 ※うち参加者負担金 １５，０００円 内訳：講師料　１４，０００円 その他事業費　１１，７００円
事業参加者への配慮等 ・参加者全員が同時進行になるように、参加者全員に確認を行いながら進行した。 ・ ・			
事業の成果（課題や目標に対して） ・プログラミングや電子工作の組み立てにそれぞれ興味を持ち、 自分のペースで取り組むことができた。 ・ ・			
備　　考 ・ ・			

講 座 名	小学生向け体験講座　「親子バイオ実験教室」		
対　　象	市内在住の小学生とその保護者（小学４年生以下は保護者同伴）		
募集人数	２０組	参加人数	１９組　３８人
事業の課題と目標 課　題 ・子どもたちに、理科の実験に対する関心をもってもらう機会が少ない。 ・ ・ 目　標 ・理科への興味関心をもってもらう。 ・ ・			
学習期間	令和５年７月２６日	学習場所	研修室
回　　数	２回	講　　師	NPO 法人くらしとバイオプラザ２１ 常務理事　佐々義子先生
学習内容	自分で紙の顕微鏡を組み立てて、細胞を観察する実験を行う		
予　　算	総額：１１，０００円 ※うち参加者負担金 １０，０００円 内訳：講師料　１１，０００円 その他事業費　０円	決　　算	総額：１０，０００円 ※うち参加者負担金９，５００円 内訳：講師料　１０，０００円 その他事業費　０円
事業参加者への配慮等 ・紙の顕微鏡を組み立てて、玉ねぎの皮を観察した。講座を円滑に進められる様に、実験器具調理器具の取り扱いに注意を払った。 ・ ・			
事業の成果（課題や目標に対して） ・講師の方にボランティアさんの協力もあり、進行がとてもスムーズに進められた。 ・ ・			
備　　考 ・ ・			

講 座 名	小学生向け体験講座　夏休みチャレンジ大作戦「きっずトライ！！」		
対　　象	市内小学生		
募集人数	２０人	参加人数	１８人
事業の課題と目標 課　題 ・学校区以外の小学生たちの交流は、機会がないと難しい。 ・学校の授業以外にいろいろな体験が気軽にできる場が少ない。 目　標 ・地域の小学生を対象に仲間づくりや道徳心を養う。 ・交流する機会を作り、体験学習を通じて仲間づくりを広げる。 ・興味を持ったことにチャレンジする行動力を育成する。			
学習期間	令和５年８月７日（月）午前・午後	学習場所	会議室
回　　数	２回	講　　師	東京ガスネットワーク（株）
学習内容	きいろいガス管を使って万華鏡を作る ガス管のひみつを学ぶ		
予　　算	総額：０円 ※うち参加者負担金：０円 内訳：講師料　　０円 　　その他事業費　０円	決　　算	総額：０円 ※うち参加者負担金：０円 内訳：講師料　　０円 　　その他事業費　０円
事業参加者への配慮等 例年、応募者多数のため、午前と午後の２回開催にした。			
事業の成果（課題や目標に対して） ・想像力を働かせて、オリジナルの万華鏡を作っていた。 ・アンケートでは、「また来たいと思った。」「楽しかった。」という感想が多かった。			
備　　考			

講 座 名	中高生向け体験講座 理系ナビ「バイオテクノロジーを利用したカイコ研究の“今”を知ろう！！」		
対　　象	中学生・高校生		
募集人数	１０人	参加人数	１０人
事業の課題と目標 課　題 学校の限られた時間数の中では多様な理科実験はできず、子どもたちの理科離れが懸念される。 目　標 富岡製糸場と製糸遺産群が世界遺産に登録され、注目されているカイコの最先端研究開発や、バイオテクノロジーについて学び、実際に自分で実験することにより理科に興味・関心をもってもらう。			
学習期間	令和５年８月１５日（火）	学習場所	調理室
回　　数	１回	講　　師	農研機構　笹川由紀さん
学習内容	カイコの光る繭から光るタンパク質を抽出する実験		
予　　算	総額：０円 ※うち参加者負担金：０円 内訳：講師料　　０円 　　その他事業費　０円	決　　算	総額：０円 ※うち参加者負担金：０円 内訳：講師料　　０円 　　その他事業費　０円
事業参加者への配慮等 ・実験の手順が複雑なので、ボランティアの方に来てもらいサポートをしてもらった。 ・自分の学校以外の学生との交流の場になるように、なるべく違う学校の学生と一緒になるよう班分けをした。 ・自由研究になるように、途中途中で写真を撮るように促した。			
事業の成果（課題や目標に対して） ・「面白い実験でよい経験になった。」「カイコやタンパク質についてあまり知らなかったが、講座を受講して興味を持つことができた。」などの感想があり、実験を楽しんだことが伺えた。 ・「地域の学生とも仲良くなれて良かった。」という感想があった。			
備　　考			

講座・学習プログラム【成人教育】

講 座 名	「有酸素運動とトレーニング基礎」 ～日常生活に様々な運動を取り入れてQOLを向上させよう！～ 女性のためのストレスフリーライフ講座		
対　　象	一般女性		
募集人数	１５人	参加人数	７人
事業の課題と目標 課　題 ストレス社会と言われる今、何らかのストレスを抱えイライラしたり、気分が滅入ったり、体調を崩したりする女性が多い。 目　標 様々なストレスを抱えている女性のために、日常生活に有酸素運動などを取り入れ、気分転換やストレス解消をしてもらう。			
学習期間	令和５年１１月９日（木）	学習場所	レクリエションホール
回　　数	１回	講　　師	運動健康指導士・ 合同会社 SHINE MORE 代表　根岸健一さん
学習内容	ウォーキングやシンプルなエアロビクスの有酸素運動		
予　　算	総額：１２,７５０円 ※うち参加者負担金：０円 内訳：講師料　１１,０００円 その他事業費　１,７５０円	決　　算	総額：１３,５６０円 ※うち参加者負担金：０円 内訳：講師料　１３,５６０円 その他事業費　０円
事業参加者への配慮等 参加者の年齢幅があるので、講師には無理なくできるエクササイズを依頼した。 自宅でもできるように、写真入りのテキストを準備した。			
事業の成果（課題や目標に対して） ・アンケートには、「とても楽しくリラックスできる機会だった。」「ジムに通っていないので色々なトレーニングが知れて良かった。」などの感想があった。 ・講座終了時には、参加者の皆さんがスッキリした表情をしていて、ストレスを解消できた様子だった。			
備　　考			

講 座 名	「アロマでハンドマッサージ」 ～手は心の鏡　マイナス１０歳若返り術～ 女性のためのストレスフリーライフ講座		
対　　象	一般女性		
募集人数	１０人	参加人数	１２人
事業の課題と目標 課　題 ストレス社会と言われる今、何らかのストレスを抱えイライラしたり、気分が滅入ったり、体調を崩したりする女性が多い。 目　標 日々の家事などでよく使う手をハンドマッサージでいたわる。 好きなアロマの香りで気持ちもリラックスしてもらう。			
学習期間	令和５年１１月１３日（月）	学習場所	会議室
回　　数	１回	講　　師	JHA 日本グリーンハートセラピスト協会 理事長　宮内典子さん
学習内容	ハンドトリートメント、マッサージ		
予　　算	総額：１３,７５０円 ※うち参加者負担金２２,５００円 内訳：講師料　１２,０００円 その他事業費　１,７５０円	決　　算	総額：１２,０００円 ※うち参加者負担金 １８,０００円 内訳：講師料　１２,０００円 その他事業費　０円
事業参加者への配慮等 ・なるべく多くの方が参加できるように参加人数を増員した。 ・自宅でもできるように、写真入りのテキストを準備した。 ・自分の好きな香りで癒されるよう、各自マッサージオイル手作りできるようにした。			
事業の成果（課題や目標に対して） ・「とてもリラックスできた。」「実際に実技もできたので、自身で出来そう。」という感想があった。 ・参加者同士、お互いの手をマッサージすることで、普段酷使している手をいたわることができて、とてもリラックスしている様子だった。			
備　　考			

講 座 名	「女性のための防犯セミナー」 ～ちょこっと護身術＆ＡＥＤ救命講習付き～ 女性のためのストレスフリーライフ講座		
対　　象	一般女性		
募集人数	１５人	参加人数	６人
事業の課題と目標 課　題 ストレス社会と言われる今、何らかのストレスを抱えイライラしたり、気分が滅入ったり、体調を崩したりする女性が多い。 目　標 防犯に関する知識と護身術を学び、安心した毎日を過ごす。			
学習期間	令和５年１１月２１日（火）	学習場所	研修室
回　　数	１回	講　　師	セコム株式会社
学習内容	防犯セミナー、護身術、ＡＥＤ救命講習		
予　　算	総額：1,７５０円 ※うち参加者負担金：０円 内訳：講師料　０円 その他事業費　1,７５０円	決　　算	総額：０円 ※うち参加者負担金：０円 内訳：講師料　０円 その他事業費　０円
事業参加者への配慮等 ・防犯に関する講話だけでなく、護身術の実践やＡＥＤの体験をしてもらった。 ・チェックリストで防犯に対する意識を確認した。			
事業の成果（課題や目標に対して） ・「大変参考になった。」「聞くだけでなくＡＥＤの実践ができて良かった。」「知らないことを習得できて良かった。」などの感想があった。			
備　　考			

講 座 名	「人生１００年時代のマネープラン」 ～お金に関するストレスを減らすために今日からできること～ 女性のためのストレスフリーライフ講座		
対　　象	一般女性		
募集人数	１５人	参加人数	８人
事業の課題と目標 課　題 ストレス社会と言われる今、何らかのストレスを抱えイライラしたり、気分が滅入ったり、体調を崩したりする女性が多い。 目　標 お金に関する節約術、活用法などを学び、人生１００年時代に備える。			
学習期間	令和５年１１月３０日（木）	学習場所	研修室
回　　数	１回	講　　師	ファイナンシャルプランナー 井上勝也さん
学習内容	マネープラン　年金、新 NISA などの活用法		
予　　算	総額：1,７５０円 ※うち参加者負担金：０円 内訳：講師料　０円 その他事業費　1,７５０円	決　　算	総額：０円 ※うち参加者負担金：０円 内訳：講師料　０円 その他事業費　０円
事業参加者への配慮等 コロナやインフルエンザが心配な時期だったので、参加者の席を離してセッティングした。			
事業の成果（課題や目標に対して） ・参加者の殆どの方が、とても熱心に受講していた。「なかなか自分では勉強できないので参加した。」「考えなくてはいけない内容なので参加した。」という方もいて、今後のお金に関する心配があることが伺えた。 ・「おもしろくて聞きごたえがあった。」「続編を希望。」という声をいただいた。			
備　　考			

講座・学習プログラム【団体育成】

講 座 名	「学校卒業後における障がい者の学びの支援事業」バランスボール講座		
対　　象	特別支援学校の卒業生		
募集人数	２０人	参加人数	１０人
事業の課題と目標 課　題 ・障がい者の方たちの学び場の提供。 ・ ・ 目　標 ・障がいを持つ人たちの生涯活動促進を目指す。 ・ ・			
学習期間	令和５年１１月４日	学習場所	レクリエーションホール
回　　数	１回	講　　師	バランスボールインストラクター　飯田渚
学習内容	医療用のバランスボールに乗ってバランスを取り、音楽に合わせ、体幹を鍛える		
予　　算	総額：１０，０００円 ※うち参加者負担金：１００円 内訳：講師料　１０，０００円 その他事業費　０円	決　　算	総額：２０，０００円 ※うち参加者負担金：１００円 内訳：講師料　２０，０００円 その他事業費　０円
事業参加者への配慮等 ・参加者全員の姿が見えるようにＵ字の形で講座を行った。 ・ ・			
事業の成果（課題や目標に対して） ・障がい者を対象とした初めての試みであったが、参加者から好評をいただいたため、 今後も事業継続を検討していく。 ・ ・			
備　　考 ・ ・			

事業活動

事 業 名	福祉センターフェスティバル		
対　　象	どなたでも		
参加人数	約５００名		
事業の課題と目標 課　題 ・活動サークルの発表の場を提供。 ・地域の福祉活動を知ってもらうこと。 目　標 ・地域の方との交流を深める。 ・世代問わず、多くの方に参加してもらえるイベントにする。			
期　　間	令和５年９月	回　　数	１回
場　　所	福祉センター館内		
事業内容	・絵手紙、陶芸、絵画などの展示 ・サークル活動の発表や演奏、踊りの発表 ・参加サークルやキッチンカーによる食べ物等の販売		
事業参加者への配慮等 ・フェスティバル前、出展者にあらかじめ注意事項を伝えた。 ・ ・			
事業の成果（課題や目標に対して） ・昨年以上の盛り上がりをみせ、今年も大盛況だった。 ・ ・			
備　　考 ・ ・			